

## 石狩超電導直流送電プロジェクト

アベノミクスの二本矢のひとつに、民間投資を喚起する成長戦略を掲げている。政策のうんぬんについて、ここではさておき、国による、直流超電導の、世界的実証実験を石狩市で開始することになった。プロジェクトの推進は産学官連携による新法人と、本市を中核とした支援組織からなっており、今月、関係者によるキックオフイベントが催される。▼本市が選定された要素をかい摘まむと、すでにデータセンターにおける直流開発を進めていた企業の存在、将来的にはLNGの冷熱利用を視野に入れており、石狩湾新港には輸入基地が始動していること、再生可能エネルギーの利用が現実的であることなどが考えられる。当然市の推進する低炭素社会への取り組みともリンクしていることである。

▼大容量の電気がロス無く送電可能となるため、リアモーターを使った新幹線や自動車などの乗り物、医療、製造業などの産業分野、さらには一般家庭も含めた新しい電気文化が低炭素社会へむけた、プラットフォームプロジェクトとなる。世界的資源の争奪は、いつか歩いた道ともなりかねない。技術国家日本の平和貢献だ、とプロジェクトリーダーである中部大学の山口教授は言う。(市長)

# 広告